

農地利用最適化推進委員の推薦・応募状況

番号	推薦・応募の別	候補者(推薦を受けた者・応募者)							推薦をする者						応募する地区	農業委員推薦・応募の有無	
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況		農地利用最適化推進委員に就任した場合の抱負等又は応募理由	法人・団体の名称	代表者又は管理者の指名	法人・団体の目的	構成員の資格、要件等	構成員の人数			推薦の理由
						職名・役職名等	耕作面積	従事日数(日/年)									
1	推薦	岡野 俊雄	74	男	農業	S43.3 埼玉県立玉川工業高校 卒業 新電元工業(株) 新電元カトロン(株) 武蔵工業(株)	2,300	200			田中 正直 外2名				当人は現在、稲作、畑作に毎日励んでおります。又、当地区のリーダーとして区長、農協、共済等の地区役員、PTA役員を歴任し、地区情勢について大変明るい人物です。デジタル対応についても非常に精通しており、農地利用最適化推進委員にふさわしい人物と思慮し、ここに推薦致します。	明覚2	無

2	応募	小林 史典	52	男	著述業	H26.3 青山学院大学 卒業	1.821	150	<p>令和3～5年度の、農地利用最適化推進委員を務めたことは、ときがわ町への助力の一端を担えたこと喜びを感じております。引き続き、令和6年度かの任期における役割を果たしたいと考えております。</p> <p>これに当たって、以下の2点を重点項目と考えております。</p> <p>1点目:まず、ときがわ町の地形的状況から、農業・農用地にとどまらず、農業者と非農業者、農用地と住居地・商業地・工業地・山林等、多様であり、これを固定的・画一的な施策は見出し難く、とすれば硬直的になりかねません。</p> <p>このことを裏返せば、行政目的の整合性や統一性を図ることを前提にしつつ、各利害関係の均衡点を模索し調整することで、バランスの取れた発展を期待できるということも意味します。</p> <p>例えば、ときがわ町を「町全体1個」で考えることはひとつの方法でしょう。</p> <p>しかし、それと同時に各地区の特色を識別し、その地区ごとのアピールポイントを移住・定住や観光の無形有形の資源と考えることもできます。</p> <p>その潜在的な資源を、自発的に顕在化させることで、地区の自発的な活性化に繋がり、その上で地域の自主努力に対して行政体が助力することで、財政の効率的な再分配を行うことができます。</p> <p>これらのことを、農業委員会として考慮します。</p> <p>山林・里山を擁するときがわ町にあって、農用地のみならず用地の荒廃防止や維持管理、賃借から所有権移転を含めた施策の周知、さらに各地域の実状を把握した上で届出等に行政と地域とが簡易に連携できる意思伝達、つまり、地方行政体-議会議員-農業委員・農地利用最適化推進委員の連携が肝要と考えます。</p> <p>そして、耕作放棄のおそれがある地区には、制裁的ではなく、行政としての助力や後見を行い、公平で効率的に資源を投入することで、保全管理を図ることが可能でしょう。</p> <p>2点目:次に、令和7年3月を期限とする国の基本政策「地域計画の策定」は、農業者をはじめとして地域住民の意見を反映させるよう企図されています。</p> <p>そして、市町村が地域計画の策定に当たり、その一環に「アンケート実施・調査や話し合い」という手段を国は提案しています。</p> <p>とはいえ、目標期限である令和7(2025)年3月までは短く、また、農業者だけでなく可能な限りの地域住民の意見という複雑な過程や要素も加味しなければなりません。</p> <p>国の提案する手段方法を知悉していること、一方に肩入れすること無く地域の実状実態に通じつつ細やかな分析をすること、均衡と調和のある合意を得ること、が必須です。</p> <p>以上2点により、ともにすれば理念的になりがちな農業政策をはじめとした地方の主体性を、誰しもが理解しやすく分解し説明し、「腑に落ちる」合意が形成されること、この役割の一端を担いたく、農地利用最適化推進委員に応募致します。</p>	明覚1	無
---	----	-------	----	---	-----	-----------------	-------	-----	--	-----	---

3	応募	清水 寛己	71	男	派遣社員	S46.3 埼玉県立川越工業高等学校 卒業 東洋電装(株) 埼玉リコー(株)	634	100	私は、この仕事を通じて見えてきた事がいくつかあります。世界事情からして日本の農業の大切さ、耕作放棄地をいかにして食い止めるか。対策についても、大野、梶平、西平など、明覚、玉川地区などはちよつと事情が違い、今は西平より奥は専業農家は一軒もなく、昔は数軒ありました。玉川地区などには広い農地があり専業農家もあります。西平より奥の地区は、耕作放棄地を最大限食い止め、玉川地区などは耕作地を増やしていくような方法が良いのではと思います。私の頭の中で、いろいろ見えてきた事を今後生かしてみたいと思い応募しました。								西平・雲河原	無	
4	応募	中澤 尚美	51	女	農業	H7.3 安田好大学 卒業 タイ・地域総合大学及び福岡公立中学校 教職 財団法人 福岡YMCA 国際教務部 特定非営利活動法人 国際環境NGO FOE JAPAN	15,489	240	ときがわ町で就農し、専業農家として約13年間農業を営んでおります。夫が前年度までの2期農地利用最適化推進委員を務めさせていただきました。 就農以来お世話になっているときがわ町の農業の発展や、農地の維持・活用に微力ながら貢献できるよう励んでまいりたいと考えております。								玉川 田黒・五明・日影	無	
5	推薦	荻野 都幾男	69	男	無職	S48.3 埼玉県立越生高等学校 卒業 ときがわ町役場							青山 達男 外2名				荻野都幾男氏は農地は所有していませんが、長年ときがわ町の職員として地域の発展とその指導的な役割を務めました。 また、退職後は大野区区長を始めとして多くの役職を経験され、地域の情勢を把握したうえでその発展に尽力されてきました。 このため、農地利用最適化推進委員として、地域の実情に即した農地の有効利用や特産物の生産などに関し、その経験を生かした業務の推進が期待されるため推薦するものです。	大槻	無
6	推薦	大野 保夫	69	男	パート従業員	S49.3 東京都小平職業訓練校 卒業 (有)戸口工業 日本環境クリアー(株)	831	150					立澤 恒二 外2名				大野保夫さんは、令和4年4月から根際区長を務め、地域に精通しており、地域の人達からも信頼のある人です。また、自家消費分の野菜類の栽培に精励されております。 区長経験を生かして農地利用最適化推進委員として町の農業行政に貢献していただける人であると思いますので、今回推薦します。	玉川	無